区民生活委員会資料令和7年9月17日区民生活部男女共同参画担当

「杉並区ジェンダー平等に関する審議会」答申及び当面の対応について

区では、令和7年1月にジェンダー平等に関する審議会を設置し、杉並区のジェンダー平等に係る施策に関し必要な事項について諮問しました。この度全8回の審議を経て答申がまとめられましたので報告いたします。

1 諮問内容

杉並区における男女共同参画の取組をジェンダー平等の視点から発展させ、ジェンダー平等社会の実現に向けて更なる推進を図るための今後の課題、目指すべき未来像、それを実現するための方策について

2 審議会及び答申の概要

別紙のとおり

3 答申のポイント

- ・杉並区の目指すべき未来像として「ジェンダー平等な社会」が示されている。
- ・ジェンダー平等を取り巻く国内外の現状、区のこれまでの取組を踏まえて、区に おけるジェンダー平等社会の実現に向けた課題及び方策が提案されている。
- ・ジェンダー平等の実現に向けて社会に通底する課題として「固定的な性別役割分 担意識」と「性の多様性についての理解不足や偏見、差別」が取り上げられてい る。
- ・ジェンダー平等社会の実現に向けて取り組むための区の体制構築やジェンダー平 等に関する条例の制定について提言されている。
- ・課題解決の全体的な方針に「ジェンダー視点の主流化(※)」を取り入れることで、区のあらゆる取組がジェンダー平等の考え方に基づき行われることが示されている。

※ジェンダー視点の主流化…ジェンダー平等及びジェンダーの視点をあらゆる 施策に反映すること

4 答申への当面の対応

全庁横断的な会議体で答申内容の具体化に向けた方向性について検討を進めるとともに、可能なものは実行計画等の一部修正、来年度当初予算へ反映させる。

審議会及び答申の概要

1 杉並区ジェンダー平等に関する審議会委員(答申日現在・敬称略)

会 長 村松 泰子 (東京学芸大学 名誉教授)

副会長 高見 具広 (独立行政法人労働政策研究・研修機構 主任研究員)

委 員 赤池 紀子 (公募)

藤岡 よし乃(公募)

岩橋 春美 (杉並女性団体連絡会 運営委員)

櫻井 彩乃 (一般社団法人GENCOURAGE 代表理事)

三戸 花菜子(特定非営利活動法人ReBit キャリア事業部マネージャー)

岩田 整 (弁護士)

山田 昌弘 (中央大学 文学部教授)

鈴木 知徳 (東京人権擁護委員協議会杉並地区委員会 委員)

2 審議の経過

- 第1回 (R7.1.27) 審議事項の諮問、杉並区の基礎的データの共有
- 第2回 (R7.2.28) ~5回 (R7.5.30)

「目指すべき未来像」・「今後の課題」・「未来像を実現するための方策」に係る審議、委員による情報提供(「ジェンダー平等及びジェンダー主流化について」、

「多様な性の考え方、地域社会における課題など」、「杉並の女性運動のあゆみ」、 「戦後からの杉並の女性の学習」)など

- 第6回(R7.6.27) 第2回~5回審議会の総括、答申の構成について
- 第7回(R7.7.29) 答申案について
- 第8回(R7.8.29) 答申の決定
- 令和7年9月5日 会長から区長へ答申を手交

3 答申の構成

答申にあたって

- I ジェンダー平等を取り巻く現状~世界・国・都~
- Ⅱ 杉並区のジェンダー平等に関する動向

- Ⅲ 杉並区のジェンダー平等社会の実現に向けて
 - 1 目指すべき未来像
 - 2 今後の課題
 - 3 未来像を実現するための方策
- Ⅳ 区に望むこと

4 杉並区のジェンダー平等社会の実現に向けた全体像

目指すべき未来像

全ての人が性別や性的指向、性自認にかかわらず尊厳を守られ、平等に権利を有し、あらゆる分野・レベルの取組に平等に参画し意思決定に関与する機会を保障され、政治的・経済的・社会的・文化的利益を享受できるとともに、責任を分かちあう社会

「ジェンダー視点の主流化」に沿って方策を実施

未来像を実現するための方策

- 方向性1【人権の尊重】誰もが人権を尊重され、互いに認め合う杉並に向けて
- 方向性2【教育】誰もがジェンダー平等を学べる環境で理解を進め、行動できる 杉並に向けて
- 方向性3【働き方・エンパワーメント】誰もが仕事と生活の調和を図り、自分ら しく働ける杉並に向けて
- 方向性4【地域】誰もが地域で平等に暮らし、活動し、助け合える杉並に向けて
- 方向性 5 【複合的な困難】地域で困難を抱える人に寄り添い、支援できる杉並に 向けて
- 方向性6【健康】誰もが自身の健康を守り、健やかに暮らせる杉並に向けて
- 方向性7【取組の基盤】区がジェンダー平等を実現し、ジェンダー平等社会の実現に向けて取り組める体制に向けて

今後の課題 【全体に通ずる課題と7つの分野における32の課題】

- 全体に通ずる課題
- ①無意識の思い込みや偏見から生ずる固定的な性別役割分担意識
- ②性の多様性についての理解不足や偏見、差別

分野1【人権の尊重】

分野2【教育】

分野3【働き方・エンパワーメント】

分野4【地域

分野5【複合的な困難】

分野 6 【健康】

分野7【取組の基盤】

7分野 32の課題